



7/30 (日) 若い家族とBBQで交流



かつろうさんげ食堂始動 月1回の食事を始めました。

5月から、一般社団法人葛力創造舎の協働し、かつろうさんげ食堂を月に一回開催しています。配食数は3回の食事会で約180食です。より多くの方々に来ていただき交流ができるように、周知方法を工夫していかなければなりません。

震災によって全村避難となった葛尾村は、1,600人ほどいた人口の3割しか帰村しておらず、単身、独居が問題となっています。この村を未来につなげたいという思いを共に共有し、お祭り、田植え、稲刈りなどの村の行事や福島大学の全村民対象の聞き取り調査に参加しながら、村内で交流の機会を増やしていく予定です。この活動が、葛尾村に新しいコミュニティの創造へとつながっていくようつながりを大切に少しずつ進んでいきたいと思っています。

福島風力合同会社と一緒にカレー、
わらびのおひたしを提供
2023.5.19 (金)

豚丼、ひきの煮つけを提供
2023.6.30 (金)



福島の今をみなさんへ

昨年度福島事務所が開所し、震災後から支援をしている団体5団体との協働に加え、今の福島で財団ができることは何かを模索してきました。震災から13年、復興が進んでいるように見えるその裏側で見えなくなっていること何かを見つけないかという思いで日々を過ごしてきました。福島でのつながりを作るために、様々な団体と連絡を取り、その活動に参加させていただく機会を作りました。

福島事務所のある二本松市には、震災後すぐに浪江町の方々約2,000人の方々が避難をしてきました。現在も4つの復興公営住宅、戸建ての住宅に多くの方々が住んでいます。今回その一つである石倉団地とつながることができ、今後問題となる高齢化、孤立の問題を一緒に考えていくことになりました。また、今ここでの暮らしが、安心して、希望の持てるものになるように、まずおしゃべり会を始め、地道につながりと信頼を作っていきたいと考えています。



石倉団地夏祭り
2023.7.29 (土)

つなげる秋田県大雨被害への緊急支援

7月14日から降り続いた大雨により、秋田県内には大きな被害が全域ででました。約8,193世帯の家屋の被害が確認されており（8月29日時点）、その内6,936世帯が秋田市の被害です。

共生財団は、NPO法人全国ホームレス支援全国ネットワークのつながりの中から、秋田市内で活動するNPO法人あきた結いネット（以下、結いネットと表記）で発災翌日から行われた災害支援のサポートを行っています。



水位を指してくださる住民さん。

たくさんの被害に会った家財が外に並んでいました。



連日、秋田の気温は30℃を超える猛暑が続き、被災された方々の多くが、親族や知人友人の家に避難しておりました。中には、1階が被災した自宅の2階で寝泊りをしていて、調理もできず、お風呂にも毎日入れていないという方々もおりました。一時避難先の県営住宅や市営住宅は満室となり、高齢者の多い秋田県では、2次被害が懸念されています。

秋田市内では罹災証明の発行が遅れており、自宅の修繕と生活の再建までにお金がかどのくらいかかるのか、不安なまま生活している被災者の方が多くおります。そのような方々に、結いネットでは、毎週物資配布と炊き出しを実施しています。ここでは、ただ物資を渡すだけではなく、なかなか自分の困った状況あっても『助けてもらいたい』と言えない気質の秋田の人に、1人1人話を聞いていくことを同時に行い、その状況に合った必要な支援を行っています。

活動支援金寄付のお願い

長期的な支援を実現するために一人でも多くの皆様に応援していただければと思います。

◇郵便局から振替の場合
郵便振替：02250-6-126459
口座名：公益財団法人 共生地域創造財団

◇郵便局以外から送金の場合
銀行名：ゆうちょ銀行
店名 二二九店（ニニキュウ店）
口座 当座
口座番号：0126459
口座名：公益財団法人 共生地域創造財団

◇特定非営利活動法人きょうせい大船渡



財団の職員が法人を立上げ、大船渡市で被災者への支援を継続しています。震災から12年が過ぎた、今の大きな船渡市様子を小さなツアーでお伝えしていきます。

◇スタッフのつばやき

今年の夏は最高気温が全国の天気予報の常連となるほどの暑さでした。しかし、炎天下でのFOE主催の保養キャンプ、ひまわり畑の雑草抜き、そして収穫は、多くの喜びをもたらしてくれました。ひまわりの成長を追いかけ、多くの人と出会うことは、私のエネルギーとなっています。

（福島事務所 豊田）